

その他の建築工事業における開口部を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	16~17	作業小屋解体工事中において小屋2階部分の床を解体工事中、建物の梁に足をかけて作業していたところ足を踏み外してしまい、作業部分に転落した。自力で動けなかったことから救急車を呼び病院に搬送された。左足大腿部を負傷、骨折と診断された。なお、アルミの足場を敷いてから作業するようにと元請事業所から指示を受けていた。	30	1~9
5	11~12	病院のMRI室改修工事の為、室内シールド撤去を目的に入室した際、突然床が崩れ、床に肩を強打した。	51	1~9
6	9~10	船を接岸するため、船上で係留索を陸上作業員へ渡す作業中、体勢を崩して船倉内（約6m）底へ転落し、負傷した。当時の天候は曇り、南東の風、風力1、波高0.3mで海上は平穏だった。	56	1~9
7	9~10	文化会館3階備品倉庫にて、備品貸し出しのため、倉庫内の長机（折り畳み式）を移動しようとした際、長机が倒れ右足に当たり、甲部分に受傷したものの。	41	50~99
7	11~12	工場改修工事中においてハト小屋にサッシを取り付けるための下地胴縁取付作業を行っていた。屋根の上にはかつて小屋があって、今回の工事ではそれを解体し天井材の上にベニヤと青シートを敷いて雨養生をしてあった。事故当日、朝の作業指示、打ち合せにて、胴縁取付作業には安全帯を使用するように指示した。作業中は安全帯を内側の足場にかけて作業していた。移動時、安全帯のフックを掛けかえようとした際つまずいてふらつき、バランスを崩して開口部から転落した。	55	1~9

7	18~19	新築現場2階にて防水シートを運搬中に蜂に追われたため回避しようとした際に吹き抜け部から転落した。	19	10 ~ 29
9	16~17	解体工事現場にて、2階で内装解体作業をしていた際に床の突起物につまずいて、バランスを崩し、開口部の高さ3.5m位のところより転落し、右手首と左足を負傷した。	31	50 ~ 99
11	10~11	10Fロングスパン前ステージと躯体との隙間で、2F~11F階段手摺りの搬入中、W600・H1200の階段手摺りを持って、2F~11Fの手摺り取り付けのために、元々取り付けであった仮設渡りを外していた。渡りを外した箇所に左足を落とし、裂傷した。	46	50 ~ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)